

2008 年度春季（第 116 回）大会のご案内

2008 年度春季（第 116 回）大会が、5 月 24～25 日に國學院大學渋谷キャンパスで開催されます。
会場への行き方については、國學院大學のホームページの「キャンパス案内」にて、ご確認ください
<<http://www.kokugakuin.ac.jp/about/campus.php>>。

なお、参加費は、会員、非会員ともに一般 3000 円、院生 2000 円です。ただし、事前払込の場合 500 円引きとなります。

お問い合わせなどは、次の大会事務局まで、なるべく電子メールにてお願い致します。

社会政策学会第 116 回大会実行委員会事務局

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28 國學院大學経済学部 橋元秀一

E-mail : hsyu@kokugakuin.ac.jp

電話 : 03-5466-0317 (研究室直通) Fax : 03-5466-2340 (経済資料室)

事務局専用携帯電話 : 090-7188-5438 (4 月 10 日～5 月 31 日限定)

第 116 回大会プログラム（於：國學院大學渋谷キャンパス）

第 1 日 5 月 24 日（土）プログラム

■ 共通論題 ■ 【120 周年記念 2 号館 2104 教室】

雇用・労働政策の変容

- 座 長 : 遠藤公嗣 (明治大学)
大沢真理 (東京大学社会科学研究所)
コメンテーター : 居城舜子 (常葉学園大学)

9 : 30～12 : 30 午前の部

報告 1 : 「日本における雇用保護法制改革の動向とその意味するもの
— OECD 調査を題材として—」

白井邦彦 (青山学院大学)

報告 2 : 「国連・ILO のジェンダー雇用平等政策、特に新しいアプローチと日本の課題」

堀内光子 (文京学院大学)

報告 3 : 「新自由主義下における労働の規制緩和」

五十嵐 仁 (法政大学大原社会問題研究所)

報告 4 : 「韓国労働政策の動向と非正規労働者」

呉 学珠 (労働政策研究・研修機構)

12 : 30～14 : 00 昼休み (幹事会、各種委員会、専門部会)

14 : 00～16 : 30 午後の部

コメントと問題提起

総括討論

16:45~17:45 総会 【120周年記念 2号館 2104 教室】

18:00~20:00 懇親会 【若木タワー18階 有栖川宮記念ホール】

第2日 5月25日(日) プログラム

9:30~11:30 テーマ別分科会・自由論題

<テーマ別分科会・第1>

【2号館 2303 教室】

タイの社会保障制度—国際比較と国際協力の交差点

座長： 埋橋孝文（同志社大学社会学部）

コーディネーター：上村泰裕（法政大学社会学部）

1. タイの社会保障制度の政治経済学的分析
浅見靖仁（一橋大学大学院社会学研究科）
2. タイにおけるUC制度とその保健医療政策上の意義
岩名礼介（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

<テーマ別分科会・第2>

【2号館2203教室】

今日の非正規雇用問題の諸相（その1） 【非定型労働部会】

座長： 笹島芳雄（明治学院大学）

コーディネーター：伍賀一道（金沢大学）

1. 被差別部落と不安定就労—大阪府下の事例研究をもとに—
大西祥恵（桃山学院大学）
2. 非正規介護職の就業意識
永井隆雄（九州大学大学院院生）
3. 雇用管理の変化と女性の活用—小売企業におけるワークライフバランスの試み
清山 玲（茨城大学）

<テーマ別分科会・第3>

【2号館 2201 教室】

グローバル化のなかの自動車産業の経営革新と労使関係 【産業労働部会】

座長： 橋元秀一（國學院大学経済学部）

コーディネーター：富田義典（佐賀大学経済学部）

1. 自動車産業における製品開発部門の管理と労使関係
富田義典（佐賀大学経済学部）
2. アメリカ自動車工場の苦闘
石田光男（同志社大学社会学部）

<自由論題・第1 社会の安定>

【1号館 1101 教室】

座 長： 鎮目真人（同志社女子大学）

1. 差別暴走のメカニズムとタスマニア先住民のケース —動的差別分析のための基本仮説—
張能美希子（千葉商科大学大学院政策研究科院生）
2. 「全民医療保障」の構想と実践—中国版国民皆保険体制の構築について
王 文亮（金城学院大学現代文化学部福祉社会学科）
3. 高齢者世帯の所得構造と相対的貧困率 —ジェンダーと世帯類型からの考察—（仮題）
室住眞麻子（帝塚山学院大学人間文化学部）
四方理人（慶應義塾大学経商連携COEプログラム研究員）

＜自由論題・第2 地域福祉＞

【1号館 1103 教室】

座 長： 山田壮志郎（岐阜経済大学）

1. 救護施設における地域生活移行の課題 —居宅生活訓練事業の実態調査から
松木宏史（同志社大学大学院社会学研究科院生）
2. 高齢者の自立支援に対する会食会の効果
松井順子（奈良女子大学大学院博士研究員）
3. 社会福祉ではたらくことの難しさ
安田三江子（花園大学社会福祉学部）

11：30～12：50 昼休み（幹事会、各種委員会、専門部会）

12：50～14：50 テーマ別分科会、自由論題

＜テーマ別分科会・第4＞

【2号館 2303 教室】

社会保障と医療および介護政策 【保健医療福祉部会】

座 長： 小山秀夫（静岡県立大学経営情報学部）
コーディネーター：藤澤由和（静岡県立大学経営情報学部）

1. 社会保障と介護政策
京極高宣（国立社会保障・人口問題研究所）
2. 社会保障と医療政策
西村周三（京都大学・大学院経済学研究科）

＜テーマ別分科会・第5＞

【2号館 2203 教室】

今日の非正規雇用問題の諸相（その2） 【非定型労働部会】

座 長： 笹島芳雄（明治学院大学）
コーディネーター：伍賀一道（金沢大学）

1. 資本系派遣会社の事業展開：派遣先親会社とその労働組合の対応を中心に
水野有香（大阪市立大学大学院経済学研究科院生）
2. 自動車産業における偽装請負拡大の経済的基盤
—自動車部品メーカー光洋シーリングテクノ社の事例をもとに—
伊藤大一（立命館大学）

<テーマ別分科会・第6>

【1号館 1101 教室】

東アジア社会政策の国際比較研究—中国・韓国・台湾出身若手研究者の視点

【国際交流分科会】

座長： 埋橋孝文（同志社大学社会学部）
澤田ゆかり（東京外国語大学外国語学部）
コーディネーター：埋橋孝文（同志社大学社会学部）

1. 日本にいる外国人研究者としての意義について考える
徐 明仿（八戸工業大学感性デザイン学科）
2. 日本で中国を研究することについて
朱 珉（中央大学経済学部）
3. 東アジアの福祉国家研究と日本の役割
金 成垣（東京大学社会科学研究所）
4. 日本留学経験のある韓国研究者の研究ネットワーク形成について
金 貞淑（韓国慶尚南道保健環境研究院）

<テーマ別分科会・第7>

【2号館 2201 教室】

高度経済成長期を中心とした貧困・婦人労働研究 **【学会史小委員会】**

座長・コーディネーター： 中川清（同志社大学）・玉井金五（大阪市立大学）

1. 70年代の貧困研究—江口英一氏の中野調査をめぐって
岩田正美（日本女子大学）
2. 高度経済成長期における「婦人労働」研究
大森真紀（早稲田大学）

<自由論題・第3 労働>

【1号館 1103 教室】

座長： 山垣真浩（大阪経済法科大学）

1. 「採用後精神障害者」の政策課題に関する研究
江本純子（佛教大学社会福祉学研究科（研究員））
2. 北欧諸国における若年労働者向け労働市場政策
福島淑彦（早稲田大学大学院公共経営研究科）
3. 単純会社分割およびその後の賃金改定における労使交渉～電機メーカーA社の事例～
福本 徹（国立教育政策研究所教育研究情報センター）

15:00～17:00 テーマ別分科会、自由論題

<テーマ別分科会・第8>

【2号館 2303 教室】

高齢期の社会保障の変容—関連制度間の調整— **【少子高齢化部会】**

座長・コーディネーター： 高田一夫（一橋大学）

1. 社会保険と高齢化
佐々木貴雄（東京福祉大学）
2. 高齢社会における生活扶助—現状把握と論点—

宮下友海（(株) 三菱総合研究所）

3. ドイツにおける高齢者の生活保障の理念と実際—日本への示唆—
森 周子（西武文理大学）

<テーマ別分科会・第9>

【2号館 2201 教室】

『グローバル化』時代における労働組合の国際活動 **〔労働組合部会〕**

座 長： 鈴木 玲（法政大学）

コーディネーター：兵頭淳史（専修大学）

1. 「グローバルユニオン」の可能性—UNIの組織と運動
伊藤栄一（ユニオン・ネットワーク・インターナショナル）
2. 公務公共部門における国際労働運動 —国際公務労連（P S I）の活動を中心に—
井ノ口 登（全日本自治団体労働組合）

<テーマ別分科会・第10>

【2号館 2203 教室】

ケア／再生産労働のグローバル配置 **〔ジェンダー部会〕**

座 長： 大沢真理（東京大学社会科学研究所）

コーディネーター：大槻奈巳（聖心女子大学）

1. 《ケア労働の国際移転》と世帯保持householding
足立眞理子（お茶の水女子大学）
2. グローバル化・ケア労働・労働力再生産と性労働のめぐり合わせ
青山 薫（東北大学COE研究員）
3. 「援助交際」体験を語ることの意義
仲野由佳理（東京学芸大学大学院院生）

<自由論題・第4 福祉サービス>

【1号館 1101 教室】

座 長： 長澤紀美子（高知女子大学）

1. 自治体における福祉サービス供給の変化と多様性—フィンランド3自治体の事例—
藪長千乃（文京学院大学）
2. 福祉サービスの準市場化と「個人」の変容
宮本章史（京都大学大学院経済学研究科院生）
3. 中国における医療・福祉サービス供給NPOの成長
沈 潔（浦和大学）

<自由論題・第5 社会保障>

【1号館 1103 教室】

座 長： 伊佐勝秀（西南学院大学）

1. 欧州における機会均等法政策の新たな展開と雇用
引馬知子（田園調布学園大学人間福祉学科）
2. バランスシート・アプローチによる公的年金財政の持続可能性分析
横山寛和（関西学院大学大学院研究員）
3. 農地を失った農民の社会保障問題—中国における都市化プロセスの中で
徐 林卉（立命館大学言語教育センター）

*報告者の氏名、所属等は2008年1月15日現在のものであり、原則として応募用紙の記載に基づいています。